

事業所名	放課後等デイサービス ほっぷ姫路	支援プログラム	作成日	2024 年	10 月	11 日
法人（事業所）理念	<p>【笑顔の想像】 (わたしたちの希望)人としての尊厳を保ち、一人ひとりの夢や希望を大切にします。/愛情いっぱい環境と笑顔であふれるサービスを提供します。/障がい者が地域社会の一員として認められ、いきいきと生活が送れるよう支援いたします。(わたしたちの責任)笑顔を絶やさず、明るく元気に誠意をもって行動いたします。/向上心および探求心をもって資質・能力の向上を目指します。/豊富な知識と高い専門性をもって充実した支援を提供します。(わたしたちの挑戦)柔軟な発想と想像力を大切にして挑戦し続けます。地域のみなさんから喜ばれる施設、信頼される法人を目指します。福祉に携わる一員としての自覚と責任をもって行動します。</p>					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の知的発達程度に応じた教育を行い社会自立に向けた基本的な能力を養います。 ・自閉症など他人との意思疎通、対人関係の形成が困難な児童/生徒に対して個別指導、集団学習を通して情緒の安定、発達を促進・社会自立をする上での基礎的な能力を養います。 ・コミュニケーションをとることが苦手であったり落ち着いて学習に取り組むことが苦手である児童、生徒に対して社会的スキルやコミュニケーション能力を養います。 					
営業時間	平日	14 時	30 分	17 時	30 分	※送迎はご希望より応じます。 送迎地域：姫路市内の学校・ご家庭/特別支援学校
	学校休日	10 時	0 分	16 時	0 分	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して過ごせる環境を作ります。(複数の部屋を使用することで場面の切り替え、パーテーションの使用で刺激の統制/安心できる場所の確保、タイマーやスケジュールを使用した見通しの伝え方等の構造化を行い、生活環境を整えます) ・健康観察や心の健康チェックシート等を用いて児童とスタッフがどちらも確認できるように体調チェックを行います。 ・体調不良の際に伝えられる術(絵カード、ジェスチャー、単語)を身につけていく支援を行います。 ・持ち物の管理、道具や遊具の準備や片付け等、身の回りの環境整備を自立的に行えるよう支援します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自立課題や個別課題の着席して行う時間と、自由に遊ぶ時間を設けています。/座った姿勢を保持しやすいよう、お子さんに合った机や椅子、足台を用意します。 ・近くの公園/グラウンド/公民館等で大きく体を動かす機会を設けています。 ・お絵描き/文字書き、工作、道具を使った活動、手順書を見ながらの作業等を取り入れ、目と手や体を一緒に動かす練習を行います。 ・感覚過敏や鈍麻のあるお子さんに対し、体温調整/カームダウンエリアの提供等を行い、環境調整します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・自立課題や個別課題の中で、数・形・大小・長短・時間等の概念を学びます。 ・課題を行う際はワークシステム(上から下、左から右)で行う子や予定表を見て確認して取り組む子等、お子さんに合わせた方法を取り入れ、自立的に行える工夫をします。 ・遊びと課題を行うスペースを区切る、パーテーションで個室を作る等の環境整備を行い、着替え/課題等、今は何をやる場面なのかを分かりやすく提示します。 ・タイマーで終わりや次の活動を提示、ベルの合図でお茶やおやつなどの時間の提示、防災無線チャイムで昼食や自分の係を認識する等、時間を意識して自ら動くことを支援します。 ・日々同じ流れの中でも変化に応じられるよう、係や送迎者のボードは毎回変えて事前に顔写真で提示します。 ・変更がある場合は事前にその子に応じた(絵/写真/文字)スケジュールで伝えます。 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の要求を伝える、助けを求める等、生活の中で自分自身に必要な伝える術を、適切な場面とその子に応じた方法で発揮できるように支援します。 ・お子さんのニーズに合わせたコミュニケーション手段を活用します。(写真/絵カード、ジェスチャー、文字、単語、文章形成など) ・遊びの中で「入れて」「かして」と伺いを立てること、「いいよ」と応じること、または「今使ってる」「あとで」と断ることも、支援員が仲介しながら学んでいきます。 ・課題の中や係の仕事、お手伝いで楽しく“読む”“書く”を学びます。(好きな言葉から読む/書く、お店屋さんごっこで注文を聞く/書き取る、係の仕事として台詞を読むなど) ・表出だけではなく、受容コミュニケーションも、どのような指示が分かりやすいのかアセスメントを行い、それぞれに合った理解できる方法で情報を伝えます。 				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の中で、自分の意思を伝え/考え/決め、子ども同士でお手伝いの役割分担を行い、友達と協力する機会を作ります。(支援員が様子を見ながら助言などを行います) ・SSTのプリントを用いて、自分の言動を振り返る/自分の気持ちや行動を理解/整理する時間を作ります。 ・情動コントロールの支援として、感情とその時の自分の気持ちの対処法を視覚的に表します。 ・自分が今どういう状態なのかを自分で理解し、その場合はどうするのかの対処法を実践しながら学びます。 ・遊びの時間を通して、順番に行う/ルールを守る/失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していく際に必要なスキルを身につけます。 				
家族支援	保護者面談（定期面談と必要に応じて不定期面談を行う） 関係機関との連携	移行支援	卒業後の進路先との情報共有 進学、就労、環境の変化に向けての課題提示と実践			
地域支援・地域連携	各関係各所との連携（相談支援事業、他放課後等デイサービス、学校等） 市の開催する虐待防止研修等、研修への参加	職員の質の向上	外部研修 内部研修			
主な行事等	避難訓練（地震・火災、二か月に一回以上）、外出イベントなど					